

皮膚科学の進歩に寄与する研究報告書

過酸化脂質が皮膚老化や他の様々な肌トラブルの原因

-美しい素肌、トラブル肌解消、化粧映えのする肌の実現を妨げる原因である-

皮膚科学・皮膚バリアの科学から見て正確で本当のことです。過酸化脂質は、皮膚の脂質が酸化されて生成される物質であり、皮膚老化や様々な肌トラブルの原因となります。具体的には、過酸化脂質は皮膚の細胞を傷つけ、乾燥や炎症を引き起こし、シミやシワ、くすみなどの皮膚老化や、他の様々な肌トラブルの原因となります。

したがって、過酸化脂質が美しい素肌、トラブル肌解消、化粧映えのする肌の実現を妨げる原因であるという指摘は、科学的に正確です。

●合成界面活性剤が皮膚に与える主たる悪影響である「過酸化脂質を生成」とそのメカニズム：

1. 合成界面活性剤の肌への悪影響：
 - ・ タンパク質の変性:合成界面活性剤は皮膚のタンパク質を変性させます。
 - ・ 脂質の溶解:皮脂、細胞間脂質、角質細胞膜を構成する脂質を溶かします。
2. 皮膚バリアの破壊:タンパク質の変性や脂質の溶解により、皮膚バリアが破壊されます。
3. 紫外線の影響増加:皮膚バリアが破壊されると、紫外線の影響が強くなります。
4. 活性酸素の生成促進:紫外線の影響が強くなると、活性酸素の生成が促進されます。
5. 脂質の酸化:活性酸素は皮膚の脂質を酸化させます。
6. 過酸化脂質の生成:酸化された脂質が過酸化脂質に変わります。
7. 皮膚老化や肌トラブルの原因:過酸化脂質は皮膚老化や様々な肌トラブルの原因となります。

このように、合成界面活性剤は皮膚バリアを破壊し、紫外線の影響を強く受けることで、活性酸素の生成を促進します。これにより、肌に様々な悪影響を及ぼす過酸化脂質が生成され、美しい素肌、トラブル肌の解消、化粧映えのする肌の実現を妨げています。

矛盾した話ですが、美しい素肌、トラブル肌解消、化粧映えのする肌を実現するために使っている合成界面活性剤配合のメイクやスキンケアの化粧品を使っている限り、これらの目標を達成することは難しいのです。この矛盾した科学的な事実気づく方は、ほとんどいません。

化粧品開発に携わる人々は、この矛盾する事実を知っていても、合成界面活性剤は有害なものが多いが、それでも使用量を抑えて使えば、有害性より利便性が優るといふ論理で化粧品開発を行っています。これも事実です。